

国と自治体が互いに協力し活力ある地域社会の形成を

参議院議長 伊達 忠一

ご挨拶に先立ち、本年7月の九州北部豪雨を始め、相次ぐ自然災害により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様方に心からお見舞いを申し上げます。被災地の復旧・復興に率先挺身取り組んでおられる関係各位に深く敬意と感謝の意を表します。

本日ここに、全国町村長大会が開催されるに当たり、参議院を代表して一言ご挨拶を申し上げます。本日、ご列席の皆様は地方自治の最前線において、行政の最高責任者として、日夜、ご尽力いただいております。皆様の日頃のご労苦に対し、改めて深く敬意を表する次第です。

さて、今日、少子高齢化やグローバル化の進展にともない、新しい行政課題が次々に生じております。こうした様々な諸課題に的確に対応するため、各自治体は、懸命な取組を続けておられます。近年、地方分権改革や地方創生の環境整備が着実に進展する中で、町村においては、地域の実情に応じて、自主的かつ主体的な行政が展開されてきております。将来に向けて持続可能な活力ある地域社会を形成していくためにも、引き続き、国と地方自治体が互いに協力し、前進してまいりたいと存じます。

結びに、本日の大会が、実り多いものとなりますようご祈念申し上げますとともに、全国町村会のさらなる発展とご列席の皆様方の一層のご健勝、ご活躍を心よりお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉といたします。